



錦鯉

総合優勝	鈴木 次夫 (平 沢)
大正三色	六平 澄雄 (小 国)
総合準優勝	栄田 寛 (室 沢)
紅白	山田 周二 (琴 浦)
成魚優勝	佐藤 隆 (平 沢)
成魚準優勝	庄司 等 (平 沢)
紅白	横山 廣壽 (琴 浦)
中魚準優勝	田宮 恒雄 (平 沢)
大正三色	小倉 政昭 (室 沢)
幼魚優勝	齋藤 徳松 (平 沢)
紅白	板垣 正一 (平 沢)
六部優勝	佐藤 幸治 (鈴 田)
黄金	齋藤日出男 (芹 田)
五部優勝	
昭和三色	
四部優勝	
昭和三色	
壮魚優勝	
紅白	
大正三色	

将棋

●二部	東條 裕志 (平 沢)
優勝	渡谷 功 (畑)
二位	阿部 芳秋 (北 向)
三位	
●三部	佐々木幹雄 (桜が丘)
優勝	佐藤 雄一 (前 川)
二位	阿部 實 (中橋町)
三位	
●Aクラス	森 久 (上沢の町)
優勝	佐々木平和 (妙見町)
準優勝	小松 博 (由利本荘市)
三位	
●Bクラス	前田 佳宏 (下沢の町)
優勝	土門 信吾 (大砂川)
準優勝	阿部 實 (中橋町)
三位	
●Cクラス	今野 政吉 (院 内)
優勝	今野 善二 (平 沢)
準優勝	大須賀 颯 (両前寺)
三位	
●一般の部	加藤 一雄 (平 沢)
特選	
牧場の春	繁野 正俱 (琴 浦)
草原に舞う	三浦 彬 (院 内)
入選	
朝の魚	鈴木 敏男 (樋ノ口)
里の朝	淡路 俊 (鈴 田)

写真

最優秀賞	加藤 一雄 (平 沢)
待っていた春	
●一般の部	
特選	
牧場の春	繁野 正俱 (琴 浦)
草原に舞う	三浦 彬 (院 内)
入選	
朝の魚	鈴木 敏男 (樋ノ口)
里の朝	淡路 俊 (鈴 田)

園芸

晴れ舞台	榑橋 悟 (由利本荘市)
錦秋善神沼	佐藤 健一 (畑)
エキユーティミティー 展望台より (スイス)	板本 洋匡 (三 森)
佳作	北村 征彦 (大 町)
落陽	工藤 純 (院 前)
犬っこまつり	山田 孝一 (琴 浦)
童	山田 孝一 (琴 浦)
愛があれば年の差なんて!	松村 栄子 (三 森)
平小のイナバウアー	佐藤アヤ子 (鈴 田)
中秋の紅葉	須藤 真一 (室 沢)
全員参加で交通安全	長谷部幸二 (室 沢)
ジャンボかぼちゃ	伊藤 文雄 (平 沢)
陽春をあびて	小松子エ子 (琴 浦)
黒濁に来た白鳥	三浦 陽右 (横 根)
最優秀賞	齋藤 修市 (三 森)
朝顔	
優秀賞	小倉 政昭 (室 沢)
雪中若鷹	安在 博 (平 沢)
山水	
奨励賞	阿部ノリ子 (横 根)
エビス大黒様	
牡丹にかいどう	佐藤ハルコ (田 抓)

俳句

兼題「当季雑詠」	
●講師(増川 柝先生)選 特選	人の世の八苦を知りて秋に入る
	須藤 莊一 (平 沢)
	小半日刈れば足る稲鎌を買う
	齋藤 守 (馬 場)
	ビル街の線の凸凹秋夕日
	細矢 鐵雄 (院 内)
●互選高地点	
新涼の轆轤に壺の立ち上がる	齋藤 俊次 (平 沢)
家々に馬ありし日よ葛の花	齋藤 俊次 (平 沢)
萩咲きて寺への小道せばめけり	佐藤 文代 (平 沢)
弁財天	木内 政仁 (平 沢)
佳作	小倉 政昭 (室 沢)
朝顔	遠田 喜一 (平 沢)
高浦	渡邊 梅芳 (室 沢)
山水	岡本 一男 (由利本荘市)
朝顔	岡本 一男 (由利本荘市)
太犬	岡本 一男 (由利本荘市)
観音様	須田 春雄 (三 日市)
課題優秀賞	齋藤 修市 (三 森)
朝顔	佐藤ハルコ (田 抓)
課題奨励賞	
朝顔	遠田 喜一 (平 沢)
朝顔	渡邊 梅芳 (室 沢)
紫陽花	安在 博 (平 沢)
課題佳作	
朝顔	佐藤 鈴子 (室 沢)

短歌

●席題句会高地点	
題「蕎麦の花」	「とろろ汁」
青空にとけ込む丘や蕎麦の花	池田 史郎 (平 沢)
それぞれの子に生活ありとろろ汁	細矢 鐵雄 (院 内)
蕎麦の花芯の強さは母譲り	齋藤みどり (小 滝)
●小学生の部 特選	
秋の朝服の試着で重ね着を	中村美菜子 (小出小六年)

バス練習見上げてみたらうろこ雲	村上 詩織 (平沢小六年)
秋風のリズムにのってランニング	山本 諒 (院内小六年)
●中学生の部 特選	
天高し小さく感じる懐みこと	柏倉 聡美 (仁賀保中三年)
冬隣り地平へ落ちし陽の光	金原 伸明 (仁賀保中三年)
鮭帰るそれぞれの川我故郷	佐藤 永一 (仁賀保中三年)

中学生の部

秀逸 (互選高地点)	夕映えのただなかにして街路樹の柳のひかり風にほぐる
	塚本 瑠子 (由利本荘市)
秀逸	いつとなく一人の暮しに慣れつつも家に聞はる諸事に疲る
	貫井恵美子 (横 根)
互選一位	雑草の葉にぼつねんと坐す蛙茄子もくわれの仕草みてゐる
	戸崎 リツ (百目木)
互選高地点	何買うというにあらねど年金の振り込まれる日数えて居りぬ
	佐々木春男 (畑)
特選	目がさめたしんと静まる十一時静かに響く草々の声
	増村 広郁 (仁賀保中二年)
	秋空の下を歩いたどこまでも私の心をとりもどすため
	三浦 美波 (仁賀保中二年)
	もう夜だいつの間にかやがた暮れる後片づけの手元見えない
	遠藤 裕也 (仁賀保中二年)
	緊張でなげだしそうになったけどこのメンバーがいるからできる
	竹内穂乃佳 (仁賀保中二年)
	キャッチャーの胸をめがけて速球を助で投げ込む夕暮れのグラウンド
	小松 琢 (仁賀保中二年)
	部活がね終ると一人の帰り道真つ暗やみに一歩が出ない
	三浦 詩織 (仁賀保中二年)

